名家連ニュース

平成 23 年 8 月 29 日（月）
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会 長　堀 場 洋 二
TEL/FAX(052)411-2890　NO.161 号

愛知障害ﾌｫｰﾗﾑ被災地(宮城県)視察より

アウトリーチ、ネットワークの重要性を改めて痛感

初日は日本障害ﾌｫｰﾗﾑ「みやぎ支援ｾﾝﾀｰ」を訪問。株木ｾﾝﾀｰ長から「被災障害者支援対応の課題について」の報告を受け、その後、障害別に懇談会を行ないました。
〇仙台市の「みどり工房　若林」の今野職員以下 3 名と愛家連、名家連で懇談しました。
→作業所が津波で流され、移転、再開するまでの経過
→避難所の様子や在宅訪問による支援と課題
についてお話を伺いました。

翌日は、最も被害の大きかった南三陸町「のぞみ福祉作業所」を視察し、風の里・相談支援ｾﾝﾀｰを訪問しました。
→海抜 16m の高台にあった作業所（2 名死亡）は隣接する特養（50 名死亡）と共に津波の被害に晒されました。
→「風の里」は保健ｾﾝﾀｰ（写真）で精神の相談事業、Ⅰ型地域活動支援事業を開設していましたが津波で損壊。
ﾌﾟﾚﾊﾌﾞで支援活動を継続している三浦ｾﾝﾀｰ長から
→震災当時の生々しい体験や避難所や在宅支援の中での、病院（薬の確保）や地域との連携で精神障害者の支援に奔走してきた数々の事例をお伺いしてきました。

支援者も被災者であり、自らの生活再建を後回しにして障害者支援に奔走する（ｱｳﾄﾘｰﾁ）支援者の熱意、志しに深い感銘を受けました。
また、こうした時こそ、日常の地域や諸機関との連携、ﾈｯﾄﾜｰｸ力が試されることも痛感致しました。

愛知障害ﾌｫｰﾗﾑでは視察から学んだ諸問題を愛知県の防災計画に提起できるよう政策委員会等で議論していくことにしています。

◇8 月 30 日の総合福祉部会において「新法の骨格案」がまとめられる予定です。
◇これを受け、愛知障害ﾌｫｰﾗﾑでは９月 10 日（土）に部会副議長の尾上浩二氏を招いて講演会を行ないます。13 時～16 時 北区役所講堂　参加費 500 円

連絡 ～どんな内容なのか、学び合いましょう ～ *誘いあってご参加を！*

◇9 月 17 日（土）名家連代表者会議　13 時半～16 時　健身会館第 1 教養室